

## 平成26年度開設予定大学院等一覧

1 大学院を設置するもの 1校

平成25年10月

区分	大学院名	研究科名 専攻等名	学 入 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
公立	新見公立大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	5	岡山県新見市	公立大学法人 新見公立大学	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理念及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	
計	1校	1研究科 (M) 1専攻	5				

2 研究科を設置するもの 12校

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
公立	兵庫県立大学大学院	地域資源マネジメント研究科 地域資源マネジメント専攻 (M)	12	兵庫県豊岡市	公立大学法人 兵庫県立大学	・ 特になし。	
私立	埼玉学園大学大学院	心理学研究科 臨床心理学専攻 (M)	10	埼玉県川口市	学校法人 峯徳学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習に必要な臨床心理カウンセリングセンターの整備について、施設の整備計画を立て、その計画を着実に実行すること。</li> <li>・ 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>・ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。</li> <li>・ 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(川口短期大学ビジネス実務学科)</li> <li>・ 財務情報のうち、事業報告書及び監事の監査報告書が学校法人のホームページで公開されていないことから、さらなる財務情報等の公開の促進に取り組むこと。</li> </ul>	
〃	椋山女学園大学大学院	教育学研究科 教育学専攻 (M) 現代マネジメント研究科 現代マネジメント専攻 (M)	6 5	愛知県名古屋	学校法人 椋山女学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「イノベーション」を冠する大学側の意図は理解できるが、必ずしも教育課程への反映が十分とは言えない面もあることから、今後関係科目(例えばアントレプレナーシップ論、マーケティング、ファイナンスなど)の一層の充実を図ること。(現代マネジメント研究科)</li> <li>・ 潜在的な進学希望層の存在を学生確保の見直しに関する根拠の一つとしているが、これらの者を今後どのようにして確保につなげていくかということについての具体的方策が必ずしも明確ではない。従って、本研究科の目的や特徴などの積極的周知をはじめとした学生確保に関する具体的方策を策定し、入学定員の充足に努めること。(現代マネジメント研究科)</li> <li>・ 「会計学特論Ⅰ」では、実務の内容を含むと申請書において説明しているにも関わらず、シラバスにはそれが含まれておらず、また、「会計学特論Ⅱ」は実証研究を行うとされているがシラバスではほとんど理論的な内容になっているなど、不整合が生じている部分がある。従って、学生の履修に不都合が生じることのないよう、申請書で示した内容に沿って、開設時までにシラバスを適切に修正すること。(現代マネジメント研究科)</li> <li>・ 講義と演習を併用する科目については、大学設置基準第21条第2項第3号を踏まえ、科目設定の意図についての学生への周知も含め、単位設定や評価方法等について適切な運営となるよう留意すること。(現代マネジメント研究科)</li> <li>・ 授業の到達目標及び授業計画と、補正申請において新たに追加した教科書、参考書が必ずしも整合していないように思われる部分もあることから、教科書、参考書については選択や使用方法も含めて再度検討し、修正すること。(現代マネジメント研究科)</li> </ul>	

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 人	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(椋山女学園大学大学院)				(学校法人 椋山女学園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者理事(4号理事)の選任において、現任の学識経験者を除外し選任していることの妥当性について法人運営の透明性を高める観点から検証し、多様な意見が反映されるよう見直すこと。</li> <li>・学校法人の公共性に鑑み、役員への慰労金の支出については規程を定める等、透明性を確保した上で行うこと。</li> </ul>	
私立	鈴鹿医療科学大学大学院	薬学研究科 医療薬学専攻(D) (4年制)	2	三重県鈴鹿市	学校法人 鈴鹿医療科学大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健衛生学部放射線技術科学科、理学療法学科、医用工学部臨床工学科の入学定員超過の是正に努めること。</li> <li>・参集を前提としない理事会及び評議員会を複数回に渡り開催し、著しく不適切な運営を行っていたことから、理事会及び評議員会の会議運営について適切に行うとともに、適切な学校法人運営を行うこと。</li> <li>・理事会及び評議員会の実出席率が低いことから、改善に取り組むこと。</li> </ul>	
"	立命館大学大学院	薬学研究科 薬学専攻(D) (4年制)	3	滋賀県草津市	学校法人 立命館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬学特別研究の授業形態が演習となっているが、シラバスの内容から演習ではなく実験・実習と思われるため、学生に分かる様に実験・実習と区分を改めること。</li> <li>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。</li> <li>・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> </ul>	
"	大阪医科大学大学院	看護学研究科 看護学専攻(M) 看護学専攻(D)	8 3	大阪府高槻市	学校法人 大阪医科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた4授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> </ul>	
"	関西大学大学院	人間健康研究科 人間健康専攻(M)	10	大阪府堺市	学校法人 関西大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>	
"	畿央大学大学院	教育学研究科 教育実践学専攻(M)	10	奈良県北葛城郡広陵町	学校法人 冬木学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術雑誌については、大学院教育に相応しい学術雑誌についてさらに充実するとともに、特に教科教育に関する学術雑誌については教育学上バランスのとれた配置となるように整備すること。また、電子ジャーナル以外に紙媒体で学術雑誌を整備すること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、策定した教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。</li> </ul>	

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 人	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(畿央大学大学院)				(学校法人 冬木学園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> <li>・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> </ul>	
私立	広島文化学園大学大学院	教育学研究科 子ども学専攻 (M)	8	広島県広島市	学校法人 広島文化学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども学」を修士課程レベルで教授するにあたっての教育課程編成の考え方について、「より専門的な『子ども理解』によって、高度な『教育支援』『教職実践・教科研究』の探求が可能となり、そのプロセスが『臨床の知』の学修である」としていることから、その特徴が活かされるよう、教育課程を不断に検証し、その改善を図ること。</li> <li>・「教科内容学特論」について、教科教育の指導に関する内容となっていることから、教科内容学に対応しいものとなるよう適切に修正すること。</li> <li>・「子どもと理数科学演習」の授業科目名称について、その妥当性を踏まえ再考すること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(広島文化学園大学 社会情報学部健康福祉学科)</li> </ul>	
"	徳島文理大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	7	徳島県徳島市	学校法人 村崎学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の特色に関し、本専攻が掲げている各能力の育成に関わる科目については、各々の領域における特論・演習Ⅰ・演習Ⅱ(フィールドワーク・実習を含む)が該当するとのことであるが、実習に該当する授業科目が不明であることから、学生にわかるように、シラバス等で明示すること。</li> <li>・社会人選抜に関し、「出願書類に成績証明書の提出を求め、『英語の成績』を合否判定の参考にする」計画となっているが、『英語の成績』の具体的内容が不明であることから、その詳細について募集要項等で受験者にあらかじめ周知すること。</li> </ul>	



区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	長崎国際大学大学院	薬学研究科 医療薬学専攻（D） （4年制）	3	長崎県佐世保市	学校法人 九州文化学園	<p>・「在宅医療研究者」や「育薬研究者」など、養成する人材像に大学独自の名称をつけて定義しているが、必ずしも一般的な使用方法ではなく、その中に薬学の観点を含まないように思われる人材像もある。したがって、名称を分かりやすいものとするか、現在の名称について詳細な説明をするなどして、学生が誤解することのないように留意すること。その際、薬学研究科であることを踏まえ、いずれの人材養成像も薬学の観点からのものであることが明確になるよう留意すること。</p> <p>・大学院で設定されている4つの研究領域（講座）と学部との関係が、関係自体の有無も含めて不明確であることから、学生に混乱を生じさせないように、詳細かつ明確な説明を行うこと。</p> <p>・長崎薬学・看護学連合コンソーシアムについて、学部学生とは違い薬剤師免許を持つ大学院学生がどのように参加し何を行うのか不明であるため、大学院学生に対しても教育研究効果がある実施内容とすること。</p> <p>・医師と薬剤師の合意文書に基づき、薬剤師が主体的に処方の開始、修正、中止、検査依頼、アウトカム評価などを行う共同薬物治療管理（CDTM）はアメリカ特有のシステムであるため、現在の日本の法制下で実施できる日本版CDTMとし、処方設計学特論において日本版CDTMプロトコル案を作成する計画になっている。しかし、現実的に日本の法制度の下では、不可能な部分が存在する。日本で実現可能なように、現在「各医療スタッフの専門性を十分に活用して、患者・家族とともに質の高い医療を実現するためには、各医療スタッフがチームとして目的と情報を共有した上で、医師等による包括的指示を活用し、各医療スタッフの専門性に積極的に委ねるとともに、医療スタッフ間の連携・補完を一層進めることが重要である」とされていることから、目指すものはプロトコルに基づく薬物治療管理（Protocol-Based Pharmacotherapy Management, PBPM）といえる。そのように語句を変更するとともに、実施にあたり基盤となる学問領域や知識を明確にし、シラバスに分かる様に記載すること。</p> <p>・修了要件について、「修了の認定を受けるために必要な修得単位数は、授業科目20単位以上および特別研究12単位の合計32単位とする」とあるが、学則（改訂案）の薬学の博士課程の修了要件には「当該課程に4年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の行う博士論文の審査および最終試験に合格する」とあるので、学則にあわせて修了要件の記載を修正すること。なお、修了要件は学位を担保する上で極めて重要な事項であることから、以後誤記がないように十分注意すること。</p> <p>また、学則案に、「在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年以上在学すれば足りるものとする」とあるが、優れた業績とはどのようなものを想定しているのか、修業年限を短縮する要件を具体的に示すこと。</p> <p>さらに、研究指導体制において、「作成された論文は、審査制度のある学術雑誌に投稿することとする。予備審査は非公開で実施し、審査に合格した後に博士論文審査請求（本審査）を行う」とあるが、学術誌への論文の投稿と学位論文審査の関係が分かる様に改めること。</p>	

区分	大 学 院 名	研 究 科 名	専 攻 等 名	入 学 員 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(長崎国際大学大学院)					(学校法人九州文化学園)	・既設校の今後の定員未充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(長崎国際大学 人間社会学部社会福祉学科、長崎短期大学 食物科、国際コミュニケーション学科)	
計	12校	13研究科	(M) 9専攻 (D) 5専攻	76 14				

3 専攻設置又は課程を変更するもの 11校

区分	大 学 院 名	研 究 科 名 専 攻 等 名	入 学 員 人 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
放送 大学 学園	放送大学大学院	文化科学研究科 文化科学専攻（D） （通信教育課程）	10	千葉県千葉市	放送大学学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人文学特論」について、「本科目はオムニバス講義と共同討議の授業形態」と説明されているが、「共同討議」の記載がシラバスに反映されていないことから適切に改めること。</li> <li>・用語としての「事例研究」の使用方法が、分野による違いがあるとしても、必ずしも一般的ではないと思われる部分もあることから、学生の履修にあたっては誤解を招くことのないように留意するとともに、適切な用語の使用についても検討すること。</li> <li>・学部、修士課程においてコース名、プログラム名に冠している「環境」について、博士後期課程では担当教員の不在等を理由にプログラム名に含まず、研究テーマとしても設定していないが、学部、修士課程との継続性の観点から適切かどうかを改めて検討し、支障が生じないよう配慮すること。</li> <li>・入学者選抜における「管理的・指導的立場にあることを評価すること」について、「立場そのものを考慮する」ことは本研究科の趣旨に合致するとは思えず、本表現を使用すること自体が誤解を招く可能性も高いことから、表現としては不適切である。従って、今後作成される関係書類においては、補正申請書に示した「社会経験や業績を考慮する」との意図が直接的に表現されたものに修正すること。</li> </ul>	
公立	兵庫県立大学大学院	シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻（D）	4	兵庫県神戸市	公立大学法人 兵庫県立大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シミュレーション学」は学際的なアプローチにより様々な領域への適用を想定したものであることから、専門領域の高度な研究指導はもちろん、異なる専門領域の教員による指導や、応用領域と基礎領域の両方での指導も行われることが重要であると考えられる。従って、他領域の副指導教員の配置を必須とする指導体制の構築（増員を含む）についても検討し、博士課程として相応しい研究指導が行われるようにすること。</li> <li>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> </ul>	
〃	九州歯科大学大学院	歯学研究科 口腔保健学専攻（M）	3	福岡県北九州市	公立大学法人 九州歯科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究科の理念・目標において「教育分野では将来の本学において口腔保健学分野を教授できる人材の養成」を行うとあるが、本学で教授することのできる人材の養成のみならず、大学の公共性に鑑み広く社会に対して口腔保健学分野を教授できる人材の養成を行うことも検討すること。</li> <li>・多職種連携のもと地域の保健・医療・福祉の中核的役割を担うことのできる人材を養成するために「専門的歯科衛生士業務演習」において多職種連携について取り扱うこととしているが、授業内容のほとんどが歯科衛生士の業務について学修するもので、多職種連携に関する具体的な学修内容が不明瞭である。そのため、多職種連携に関する具体的な学修内容を明確にするとともに、内容の充実に努めること。</li> </ul>	

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(九州歯科大学大学院)				(公立大学法人 九州歯科大学)	<p>・シラバスの記載内容について、以下の点に留意し、開設時までに修正すること。</p> <p>(1) 表現として不適切な箇所や、内容が不明瞭な箇所があることから、適切な文言を使い内容が明確になるよう修正すること。また、科目間で使用されている文言にばらつきがあり、学生に混乱を生じさせるおそれがあるので、可能な限り文言を統一すること。</p> <p>(2) 学生の到達目標と各回の学習内容が乖離している科目があることから、一致した内容となるよう修正すること。</p> <p>(3) 「テキスト・参考文献等」で挙げられている書籍等が、授業で実際に取り扱う標準テキストなのか、効果的な学習のための補助教材的な参考文献なのか不明瞭なので、明確にすること。また、標準テキストや講義ごとの資料と併せて参考文献を示すことが望ましいと思われる科目については、適宜参考文献を明示すること。さらに、「講義ごとに資料を配付」となっている科目については、授業の予習を前提として事前に資料を配付すること。</p> <p>(4) 成績評価方法・基準が依然として不明瞭な科目があることから、修正すること。</p> <p>(5) 授業科目の概要で「論文指導を行う」と記載されている「口腔科学研究」について、一部教員のシラバスの記載が論文指導を行う内容であるか不明瞭なので、論文指導につながる授業内容であることを明確にすること。</p>	
私立	東京基督教大学大学院	神学研究科 神学専攻 (D)	2	千葉県印西市	学校法人 東京キリスト教学園	<p>・本博士後期課程の必要性、及び養成人材像として掲げる「東アジアにおける神学の教育研究の一拠点となるヴィジョン」、「グローバル化し複雑化する教会と社会の神学上の諸課題について提言し新しい未来の構築に貢献できる高度な専門性と研究能力を持った指導者の養成」が具現化されるよう、本学が計画している取組を着実に実行するとともに内容の充実に努めること。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	
"	順天堂大学大学院	医療看護学研究科 看護学専攻 (D)	7	千葉県浦安市	学校法人 順天堂	・特になし。	
"	東京音楽大学大学院	音楽研究科 音楽専攻 (D)	3	東京都豊島区	学校法人 東京音楽大学	・特になし。	
"	京都橘大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (D)	3	京都府京都市	学校法人 京都橘学園	・特になし。	
"	摂南大学大学院	工学研究科 生命科学専攻 (M)	10	大阪府寝屋川市	学校法人 常翔学園	・特になし。	平成26年4月名称変更予定 工学研究科→理工学研究科
"	産業医科大学大学院	医学研究科 看護学専攻 (M)	5	福岡県北九州市	学校法人 産業医科大学	・教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた3授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	日本経済大学大学院	経営学研究科 経営学専攻 (D)	3	東京都渋谷区	学校法人 都築育英学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究上の目的等に掲げる「インテリジェンスマネジメント」は、本博士後期課程において重要な位置付けとなる概念であることを踏まえ以下のとおり配慮、又は改めること。</li> <li>(1) 設置の趣旨にある「インテリジェンスマネジメント」という用語は学会において十分に確立した概念とまでは言えず、独自の解釈と思われる部分もある。従って、国際通用性を有すべき学位を授与する課程の中心概念として位置づけていることを踏まえ、既存の類似概念との関係性や新たな概念を提案するメリットなどを含め「インテリジェンスマネジメント」の概念について学生及び学会関係者を始めとして全ての関係者に十分理解されるよう説明を尽くすこと。また、必要があれば概念の再構築に取り組むこと。</li> <li>(2) 「インテリジェンスマネジメント」の概念については補正申請書において「特定な競争相手(ライバル)だけに情報収集を絞り込むのではなく、より広く競争相手を捉え・・・」と説明されているが、「インテリジェンスマネジメント特講」のシラバスはほぼライバル関係の分析に終始しており、設置の趣旨と整合していないことから適切に修正すること。</li> <li>・社会的ニーズの把握に関して行った企業アンケートの調査結果は、対象の半数以上が関係先企業であり、そのことにより回答にバイアスがかかっている部分もあると推測されることから、社会的ニーズについて今後の一層の把握に努めること。</li> <li>・経営学において大学院修士課程レベルの知見・専門性と研究法を確実に習得している者の入学を担保するため、出願資格、個別入学資格審査の方法及び判断基準、入学者選抜方法をより明確にし、厳格な実施に努めること。</li> <li>・「会計学特講」については広く薄い内容になっているので、博士後期課程にふさわしいレベルの内容となるよう、例えば管理会計と財務会計の分野を独立した特講科目として設定することなども含め、適切に改めること。また、経営財務特講においては「確率解析とファイナンス」を3回の輪読で行うことなどの実現可能性に疑問があることから、必要に応じて授業計画を修正するなどして適切に実施すること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> </ul>	
"	西九州大学大学院	健康福祉学研究科 臨床心理学専攻 (M) リハビリテーション学専攻 (M)	4 3	佐賀県佐賀市 〔臨床心理学専攻 (M)〕 佐賀県神埼市 〔臨床心理学専攻 (M) リハビリテーション学専攻 (M)〕	学校法人 永原学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本研究科・専攻と基礎となる学部・学科と異なる名称を冠していることから、それぞれの内容について学生が誤解しないような説明に努めるとともに、本学の学部から進学する学生の教育研究の継続性に支障が生じないよう配慮すること。(臨床心理学専攻)</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。(臨床心理学専攻)</li> </ul>	健康福祉学研究科 健康福祉学専攻〔定員減〕 (△9)  平成26年4月名称変更予定 健康福祉学研究科 →生活支援科学研究科

区分	大 学 院 名	研 究 科 名	専 攻 等 名	入 学 員 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(西九州大学大学院)			人		(学校法人 永原学園)	・入学者受け入れの基本方針について「以下の要件を満たす者」として「専門教育を受けた者」と「資格をもとに・・・活躍」する者を挙げているが、全てを満たすことが必要か、いずれかを満たすことが必要か不明瞭であることから、その関係性を明確にした上で学生募集を行うこと。また、「専門教育を受けた」の具体的範囲及び内容が不明瞭であることから、同様に明確にすること。(リハビリテーション学専攻)	
計	11校	10研究科 (M) (D)	5専攻 6専攻	25 22	大 学 院	△ 9	認可申請に伴う、既設研究科等の入学定員の変更状況	
		[通信教育課程] 1研究科 (D)	1専攻	10				

(注) 「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

4 通信教育を開設するもの 1校

区分	大 学 院 名	研 究 科 名 専 攻 等 名	入 学 員 人 定	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	武蔵野大学大学院	環境学研究科 環境マネジメント専攻 (M) (通信教育課程)	10	東京都江東区	学校法人 武蔵野大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同一科目の学修方法を統一する観点から、「環境コミュニケーション論」について、スクーリングとレポートの2つの学修方法からレポートのみの学修方法に変更しているが、当初スクーリングではロールプレイ及びそれに基づく討論を行うことを予定しており、当初の授業科目の目的や教育効果がレポートのみによる学修方法で達成できるか懸念があることから、スクーリングによる授業科目として設定するよう再考すること。</li> <li>・ 本専攻の専任教員の負担軽減のために、平成26年度からの大学全体の教員採用計画を立てているが、詳細が不明である。具体的な計画を立てた上で、それを着実に実施すること。</li> <li>・ 既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(武蔵野大学 通信教育部 教育学部児童教育学科)</li> </ul>	
計	1校	1研究科 (M) 1専攻	10				